



# 「自分の命は自分で守る」 ～市総合防災訓練に参加しました～

9月3日（土）大内地域を会場として、由利本荘市総合防災訓練が行われました。岩谷小学校では「シェイクアウト（地震発生）からの避難訓練」から始まり、「放水による消火体験（全校）」「煙の中での避難（全校）」「地震体験車（6年のみ）」をそれぞれ行いました。

8:10に「北由利断層を震源とするマグニチュード7.3の大地震が発生。大内地域では最大震度6弱を観測」という想定で訓練開始。教室にいた子どもたちは、真剣な表情でグラウンドに避難しました。

「放水による消火体験」は、水を使った消火器で火元に放水し、火を消す練習です。手の小さい子どもたちは、放水レバーをにぎるのに苦労していましたが、なかなか上手にできていました。

「煙の中での避難」は、テントの中にスモークマシンで煙を充満させ、その中を通り抜けて出口にたどり着く、というものです。「煙は高いところに集まりやすいので、できるだけ身を低くしてハンカチで口を押さえて避難する」ということを教わりました。

「地震体験車」は、揺れの大きさに合わせて部屋が動くものです。一見アトラクションのようで楽しそうですが、本当の地震では、そんな笑っている余裕など無くなってしまうことでしょう。

体験の後は体育館に移動し、自衛隊の方から「災害派遣についてのお話」を伺いました。災害が起こると、現場の復旧のためにいち早く駆けつけてくれるのが自衛隊の皆さんです。実際の様子をスライドを交えながら紹介してくれました。災害はいつ私たちの身の回りに起こるか分かりません。ふだんから意識を高め、自分の命を自分で守るためにも、慌てずに行動することのできる強い心を身に付けておきたいですね。

参加してくれた子どもたちに、市からミネラルウォーターのペットボトルを1本ずついただきました。ありがとうございます。



地震体験車は怖かった…



テントの中は煙でいっぱいです



あわてないでレバーを引いて！



\*\*\*さん（西目出身）の講話

## 日韓児童絵画コンテストに入賞



日韓児童絵画コンテストで、\*\*\*さん（1年）と\*\*\*\*さん（3年）の作品が入賞しました。

今回のテーマは「ふるさとの食べ物」を紹介するもので、「きりたんぽ鍋」の様子を上手に描いてくれました。

これから涼しくなってくると、鍋もおいしい季節です。皆様のご家庭でも、ぜひ鍋を囲んでみてくださいね。

入賞おめでとございます。

## 第50回 由利本荘市児童生徒科学作品展のご案内

夏休みに子どもたちが頑張った理科研究に関する作品を展示します。感染対策をして、どうぞご覧ください。

期日 9月10日(土) 11日(日)  
時間 10:00~17:00  
会場 文化交流館カダール 1階ギャラリー



本校からは以下の皆さんの作品を出品しました

### 入賞おめでとう!

#### ★お願い★

- ・会場ではマスクを着用してください。
- ・熱がある人、体調の悪い人は見学を控えてください。
- ・入口で体温測定、手指消毒をお願いします。
- ・見学者の人数、代表者氏名、連絡先を記入していただきます。
- ・会場内では2m以上の間隔をあげ、大きな声を出したり、走り回ったりしないでください。

### 家族のきずなエッセイ募集



本荘にかほモラロジエ  
事務所主催のコンテストで  
\*\*\*さん(四年)が  
優秀賞を受賞しました。  
おめでとうございます。

#### 自転車のほ助理んが外れた日

岩谷小学校 四年 \*\* \*\*

ぼくは、五さいの時に自転車に乗れるようになりました。毎日、お父さんとお母さんと練習をして、何度も転んでケガをしました。痛くて泣いて、あきらめそうになった時に、お父さんとお母さんがいつも優しい言葉をかけてくれました。ぼくは、「もっと練習をして乗れるようになるぞ。」と力がわいてきたのを覚えています。それからすぐに一人で自転車に乗れるようになりました。

そして今、ぼくの弟も自転車の練習をしています。ぼくと同じように、何度も転んでは泣いています。そんな時、ぼくは自分がお父さんとお母さんにしてもらったように、弟に優しく声をかけてあげています。

すると、弟はどんどん上手になり、ぼくと同じように五さいでほ助理んが外れました。弟のうれしそうな笑顔を見たとき、ぼくが初めて一人で乗れたのあの日と同じくらいうれしい気持ちになりました。これからも、家族みんなで力を合わせていろいろなことに挑戦したいと思います。

## 給食委員会による児童集会

6日(火)の朝に行われました。ふだんの給食に関する内容からクイズを出題し、全校で楽しみながら考えることができました。

- ① 給食を食べるときには、どんな姿勢で食べたらいい?
- ② 嫌いなメニューが出てきたら、どうすればいいのかな?
- ③ 「犬食い」とは、どんな食べ方のことを言うのかな?



答えはお子さんに聞いてみてくださいね。給食委員の皆さんは、マイクを使わずに寸劇を交えて堂々と発表してくれました。これは立派なことです。よくがんばりました! 「人前で話すことは恥ずかしい」かもしれませんが、これに関してはとにかく「慣れる」ことが大事だと思います。集会の感想発表などの時間に、どんどん挑戦してみましょう。

子どもたちの中には、ふだんの教室であっても「発表するのがはずかしい」という子がいます。「間違えてみんなに笑われちゃうかも…」と心配するのかもしれませんが。担任の先生は、そうならないための雰囲気作りを心がけています。まずは、勇気を出してどんどん手を挙げてみましょう。自分の中の何かが変わるかもしれません。